

学校法人 岩崎学園 横浜リハビリテーション専門学校  
2021年度 第1回 教育課程編成委員会

**日時** 2021年9月24日（金） 16:30～17:30

**会場** 横浜リハビリテーション専門学校 604スタジオ及びzoomによるオンラインにて実施

**出席者** 齋川 大介 藤沢湘南台病院 リハビリテーション科 科長 理学療法士  
錠内 広之（一社）神奈川県作業療法士会 監事  
鈴川 仁人（公社）神奈川県理学療法士会 理事  
野々垣 睦美 クラブハウス すてっぷなな 統括所長 作業療法士  
橋本 卓雄 校長、林 克郎 参与、瀬古 恵美 部長、  
中村 啓文 理学療法学科長、水島 眞由美 作業療法学科長、秋本 浩、田中 千恵、机 里恵

**内容**

1. 橋本校長挨拶

本日はお忙しいところ、本校の教育課程編成委員会にご出席いただきありがとうございます。  
コロナ感染拡大の影響で、オンライン併用学校運営となっています。その影響については、今後検証が必要と考えています。本日は本校の教育活動に対する、委員の皆様の忌憚ないご意見をいただきたいと思いますのでよろしく願いいたします。

2. 委員自己紹介、委嘱について（瀬古部長）

県士会の選挙時期に考慮し、今回より委嘱期間を7月31日までとさせていただきました。したがって、本委嘱期間は2021年4月1日より2023年7月31日までとなります。

3. MTDLP強化校としての取り組み（作業療法学科）（水島）（資料1）

本校は、全国で7校しかない生活行為向上マネジメント推進協力強化校です。本日は強化校としての本校の取り組みについて報告いたします。（資料1）

4. 実習前後のOSCEに向けての取り組み（理学療法学科）（資料2）

新指定規則による臨床実習では、実習前後評価としてOSCEの実施が必要です。本校では3年生の理学療法セミナーと総合演習にて同じ模擬症例を活用し、臨床推論を理学療法セミナーにて、その実技を総合演習でのOSCEにて実施しましたので、報告いたします。

5. 意見交換

[錠内委員] 臨床実習指導者として以前はボトムアップ方式で指導していたが、今回はMTDLPによるトップダウン方式で介入した。症例理解がスムーズになり時間短縮につながった。また、デイリーもDXによりスムーズにやり取りができたため、課題達成にはよいツールと考える。

[水島学科長] 今後も推進していきたい

[齋川委員] OSCE の模擬患者を卒業生に依頼したことはよいと思う。また、実習前の学生の評価を施設に伝えて実習を行うという流れはこれまでと異なる。

[中村学科長] 80 名の情報となると厳しいため、情報提供が必要と考えられる学生や、苦戦が予測される学生の情報は共有すべきと考えている。今回、2 年生の 1 週間実習において、そのような学生の情報共有を行った結果、実習がスムーズに進められた。やはり、実習前情報を共有することで円滑な実習になると期待できる。

[齋川委員] 実習到達点を立てるといふより、それぞれの学生のステップアップを目指すと考えてよいか。

[中村学科長] それでよいと考える。その結果、学生の実習評価については学校判断で行う。

[齋川委員] 学生に対する評価については、学校判断でよいと思う。

[野々垣委員] 当施設においてもケースカンファレンスの時に MTDLP を使用しているが、ケース理解が得やすいため、学生から使用できるよう進めてもらっていることはよいと思う。有資格者 (OT) の浸透は不十分と感じており、実習指導を通して学べる機会になるとよい。

[水島学科長] MTDLP は新規性の高いものではなく、これまで臨床にて行ってきたものを可視化したものである。ぜひ、臨床現場で皆さんに使っていただきたい。

[鈴川委員] 学内での OSCE に卒業生が参加するのは素晴らしい取り組みである。RPT の卒後教育の一環にもなる。当施設においては、数年前から OSCE を取り入れた学生指導を行っているが、診療参加型実習においても、OSCE の導入が指導しやすさにつながっている。

[中村学科長] 卒業生の参加により、卒業生に実習について伝えるよい機会となっている。今年度の実習においては、協会推進の 1 : 2 型の指導で先生方にご依頼したが、コロナ感染の影響により、多数枠で依頼していた施設が、急遽中止になるなど、対応に苦慮した点もあった。多数の施設への分散も必要であったと考えている。

[瀬古部長] 診療参加型実習で進めていただき、その形態による新たな課題も見えてきた。新指定規則下での学生実習までに検証・検討していく。

[林参与] 委員の皆様、貴重なご意見をありがとうございました。いただいたご意見を参考に、次年度以降の実習について検討を重ねていきたい。OT 学科での DX による情報共有は今後の流れの一つと考えている。また、OSCE については医学部でも試行錯誤が進められている。OSCE による実習前後の評価については、今後ブラッシュアップを重ねてよいものにしたい。

## 6. 2021 年度第 2 回教育課程編成委員会 日程について

次回の教育課程編成委員会は、2022 年 3 月 25 日 (金) 16:30～とした。開催方法については、感染状況を見極め、検討し連絡する。

文責：田中 千恵